

## 合同企業説明会「原子力産業セミナー2012」ご報告

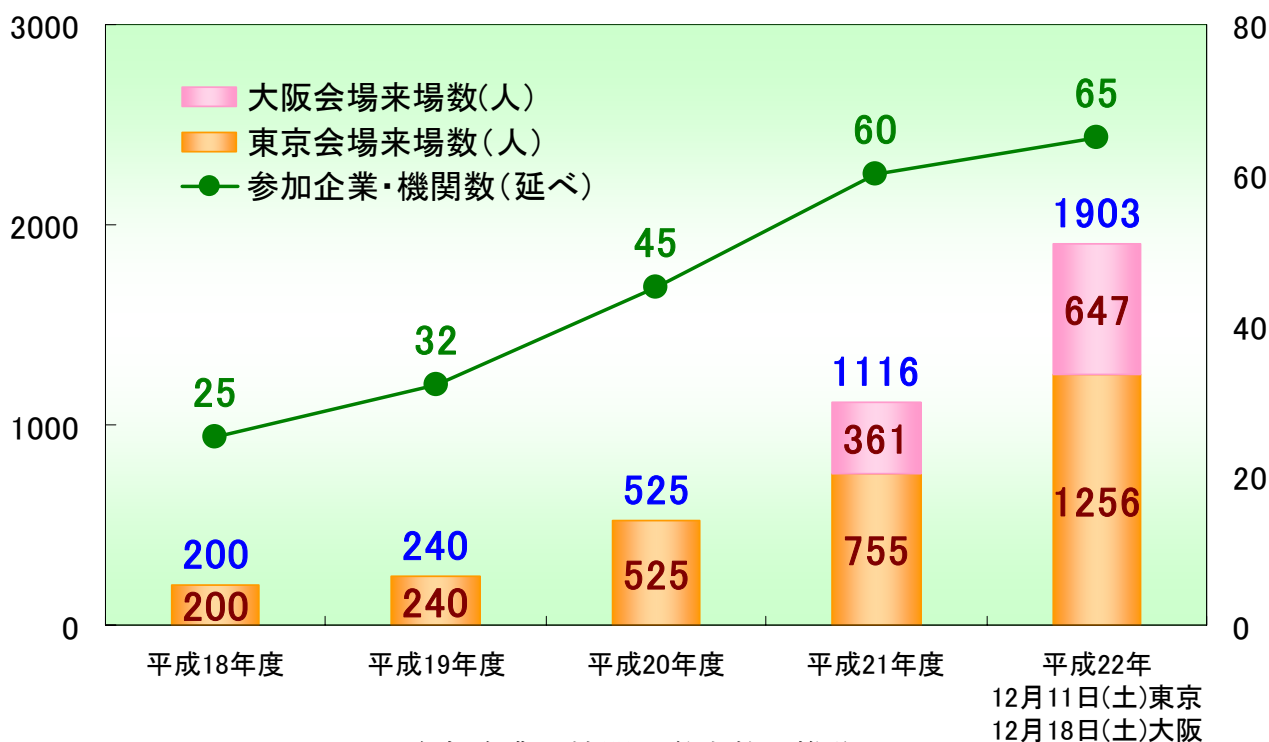
今回の合同企業説明会「原子力産業セミナー2012」では、東京・大阪会場とも過去の来場学生数を大幅に更新しました。これは、原子力事業の国際展開がメディアに取り上げられたことにより認知度が向上したことや、学生が原子力発電を重要な産業として肯定的に捉えていることが要因として考えられます。

更に、2011 卒の求人倍率低下\*が盛んに叫ばれ、2012 年の就職を目指す学生の危機意識が非常に高まっていることも、背景にあるようです。

※ 2011 年 3 月卒業の大卒(学部・院)求人倍率は 1.28 倍で、2010 卒の 1.62 倍から大きく低下しました。  
(出典：第 27 回ワークス大卒求人倍率調査(2011 年卒) ワークス研究所)

## 1. 概要 (( )内の数字は、前回のものです)

		東京会場	大阪会場	
実施会場		新宿エルタワー	ハービス OSAKA	
開催日時		平成 22 年 12 月 11 日(土) 10:00 ~ 17:00	平成 22 年 12 月 18 日(土) 10:00 ~ 17:00	セミナー全体
参加学生数		1256 人(755 人)	647 人(361 人)	1903 人(1116 人)
参加校数	院	76 校(50 校)	45 校(35 校)	104 校( 76 校)
	大学	90 校(89 校)	58 校(42 校)	139 校(126 校)
	その他	8 校( 4 校)	5 校( 2 校)	12 校( 6 校)
参加企業・機関数(延べ)		38 社(37 社)	27 社(23 社)	65 社(60 社)



## 2. 原子力産業セミナー2012の実施目的

### (1) 学生への原子力産業の理解促進

原子力産業を就職先として視野に入れている学生を対象に、就職活動と絡めて原子力産業の認知度向上および理解促進を図ります。

### (2) 参加企業・機関の採用活動を支援

参加企業・機関の採用活動を支援することにより、原子力産業界に多数の有望な人材の確保を目指します。また、原子力産業への就職意識の高い学生と参加企業・機関が接触する機会を創出します。

## 3. 原子力産業セミナー2012の特徴

- ・ 来場学生数・参加企業数が過去最高を記録しました。来場学生数の詳細につきましては、「6.来場学生データ」をご覧ください。
- ・ 産業展示コーナーの展示物を、普段から原子力と接している学生向けのもの(燃料模型、BWR・PWR 模型等)から、原子力産業になじみのない学生向けに変更しました(今回：放射線や原子力発電の仕組み等のパネル)。
- ・ 「原子力なんでも相談コーナー」を設置し、学生の様々な相談に対応しました。(相談員：(社)日本原子力産業協会および関西原子力懇談会)
- ・ 「ほかにもあるぞ募集企業!!」のコーナーを設置し、2012年の新卒採用予定が有る、ブラス非出展の企業・機関のリストを作成し、パンフレットとして配布しました。

## 4. 後援・協賛

前回の原子力産業セミナー2011と同様に、今回の原子力産業セミナー2012に関しても、以下の政府3機関からの後援、11団体からの協賛を頂きました。

後援	協賛(五十音順)
原子力委員会	(社)応用物理学会
文部科学省	(独)国立高等専門学校機構
経済産業省	(社)電気学会
	(社)電子情報通信学会
	(社)土木学会
	(社)日本化学会
	(社)日本機械学会
	(社)日本原子力学会
	(社)日本建築学会
	(社)日本物理学会
	日本保健物理学会

## 5. 参加企業・機関一覧

電力(五十音順、*は初参加)	会場	
	東京	大阪
関西電力株式会社	○	○
四国電力株式会社		○
中国電力株式会社		○
中部電力株式会社	○	○
東京電力株式会社	○	
日本原子力発電株式会社	○	○
日本原燃株式会社	○	○
北陸電力株式会社*	○	
重電・機械メーカー(五十音順、*は初参加)	会場	
	東京	大阪
株式会社 IHI*	○	○
株式会社 東芝	○	○
株式会社 日立製作所	○	○
三菱重工業株式会社	○	○
エンジニアリング・燃料加工メーカー(五十音順、*は初参加)	会場	
	東京	大阪
株式会社 アトックス	○	○
伊藤忠テクノソリューションズ	○	
ウツエバルブサービス株式会社		○
MHI 原子力エンジニアリング株式会社	○	○
株式会社 オー・シー・エル	○	○
関電プラント株式会社		○
株式会社 グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン	○	
原子燃料工業株式会社	○	○
原電事業株式会社	○	○
原燃輸送株式会社	○	
辰星技研株式会社*	○	○
新日本空調株式会社	○	○
株式会社 千代田テクノル	○	
株式会社 テプコシステムズ	○	
財団法人 電力中央研究所	○	
株式会社 東京エネシス	○	
東芝プラントシステム株式会社	○	○
東電環境エンジニアリング株式会社	○	
東電設計株式会社	○	
東洋エンジニアリング株式会社*	○	

日本エヌ・ユー・エス株式会社	○	
財団法人 発電設備技術検査協会	○	○
株式会社 日立プラントテクノロジー	○	
三菱原子燃料株式会社	○	○
三菱マテリアル株式会社	○	
建設(五十音順)	会場	
	東京	大阪
太平電業株式会社	○	○
東電工業株式会社	○	
その他(五十音順)	会場	
	東京	大阪
独立行政法人 原子力安全基盤機構	○	○
原子力発電環境整備機構	○	○
独立行政法人 日本原子力研究開発機構	○	○
財団法人 若狭湾エネルギー研究センター		○
合計	38	27

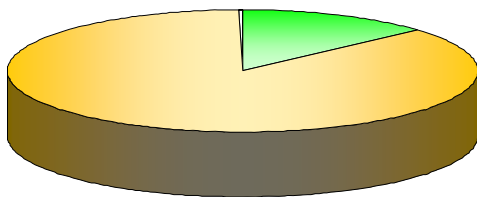
## 6. 来場学生データ

### (1) 文・理構成比

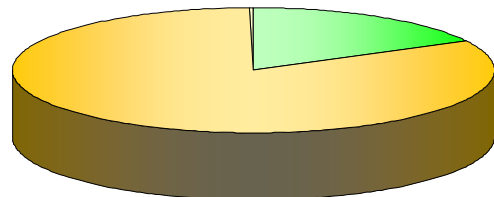
( )内は全体に占める割合です。

	東京会場	大阪会場	合計
文	167 (13.3%)	112 (17.3%)	279 (14.7%)
理	1087 (86.5%)	534 (82.5%)	1621 (85.2%)
不明	2 (0.2%)	1 (0.2%)	3 (0.1%)
合計	1256 (100%)	647 (100%)	1903 (100%)

東京会場



大阪会場



■ 文  
■ 理  
■ 不明

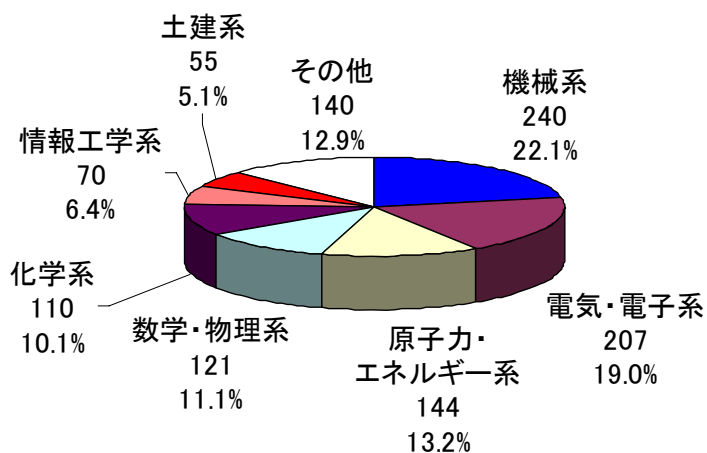
来場学生の文理構成比は、総数の約85%が理系、約15%が文系でした。前回・前々回の原子力産業セミナーと比較し、文理構成比に関しましては同程度です。

(2) 理系の分野別構成

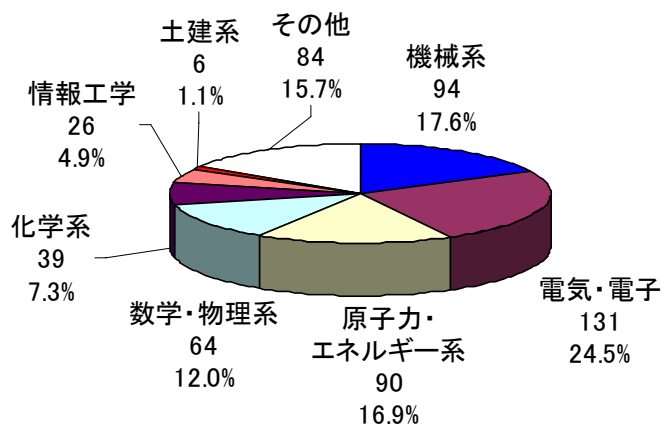
( )内は理系に占める割合です。

分野	東京	大阪
機械系	240 (22.1%)	94 (17.6%)
電気・電子系	207 (19.0%)	131 (24.5%)
原子力・エネルギー系	144 (13.2%)	90 (16.9%)
数学・物理系	121 (11.1%)	64 (12.0%)
化学系	110 (10.1%)	39 ( 7.3%)
情報工学系	70 ( 6.4%)	26 ( 4.9%)
土建系	55 ( 5.1%)	6 ( 1.1%)
その他	140 (12.9%)	84 (15.7%)
理系合計	1087 ( 100%)	534 ( 100%)

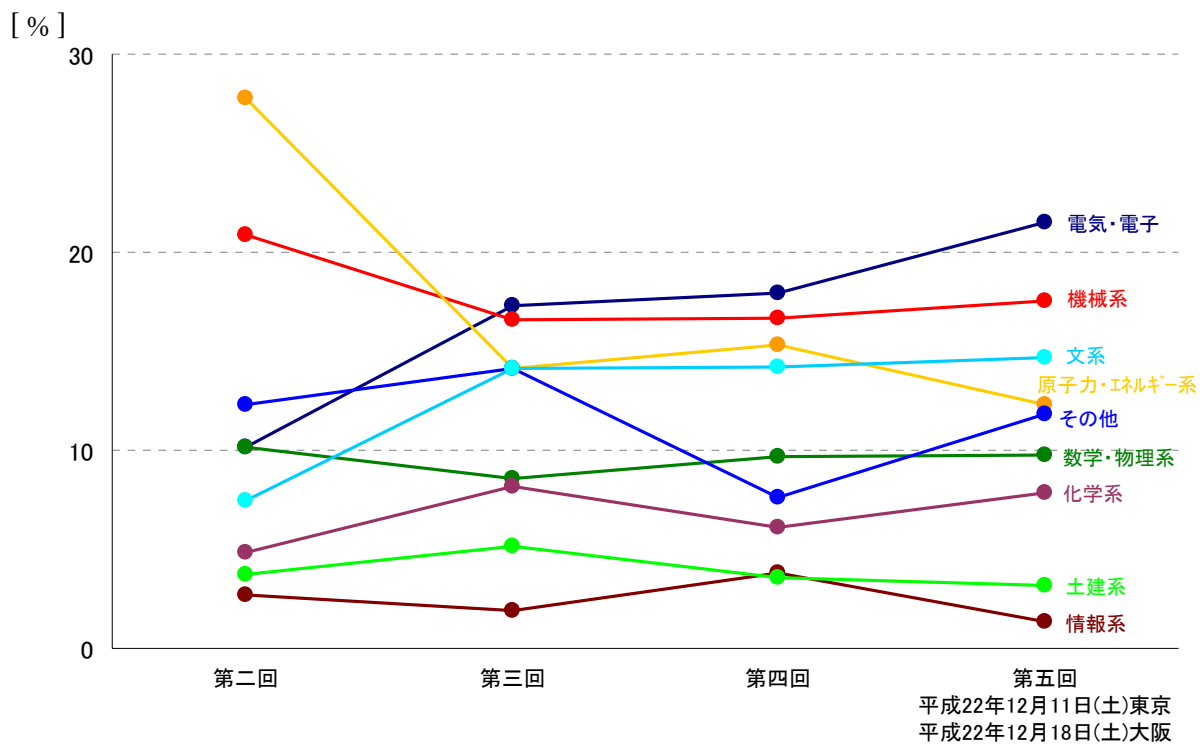
東京会場



大阪会場



理系の分野別構成比に関しましても、文理構成比と同様に前回・前々回と比較し、大きな変化は見られませんでした。

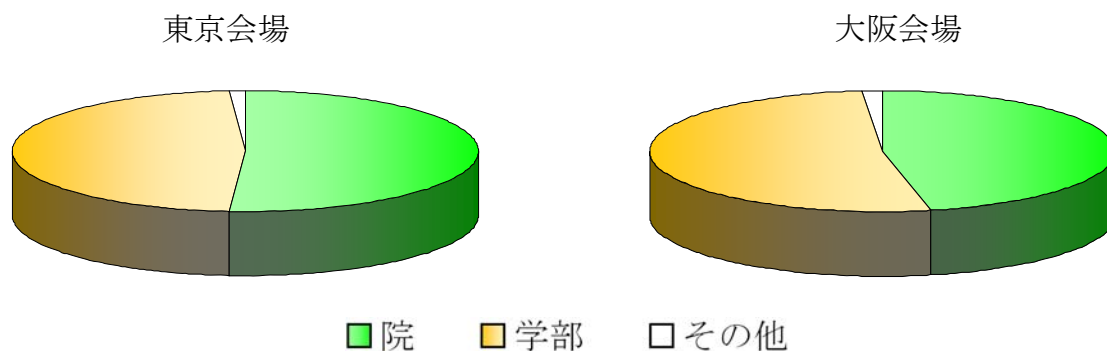


### (3) 院・学部構成

( )内は全体に占める割合です。

所属	東京	大阪	両会場合計
院	643 (51.2%)	303 (46.8%)	946 (49.7%)
学部	600 (47.8%)	335 (51.8%)	935 (49.1%)
その他*	13 ( 1.0%)	9 ( 1.4%)	22 ( 1.2%)
来場者合計	1256 ( 100%)	647 ( 100%)	1903 ( 100%)

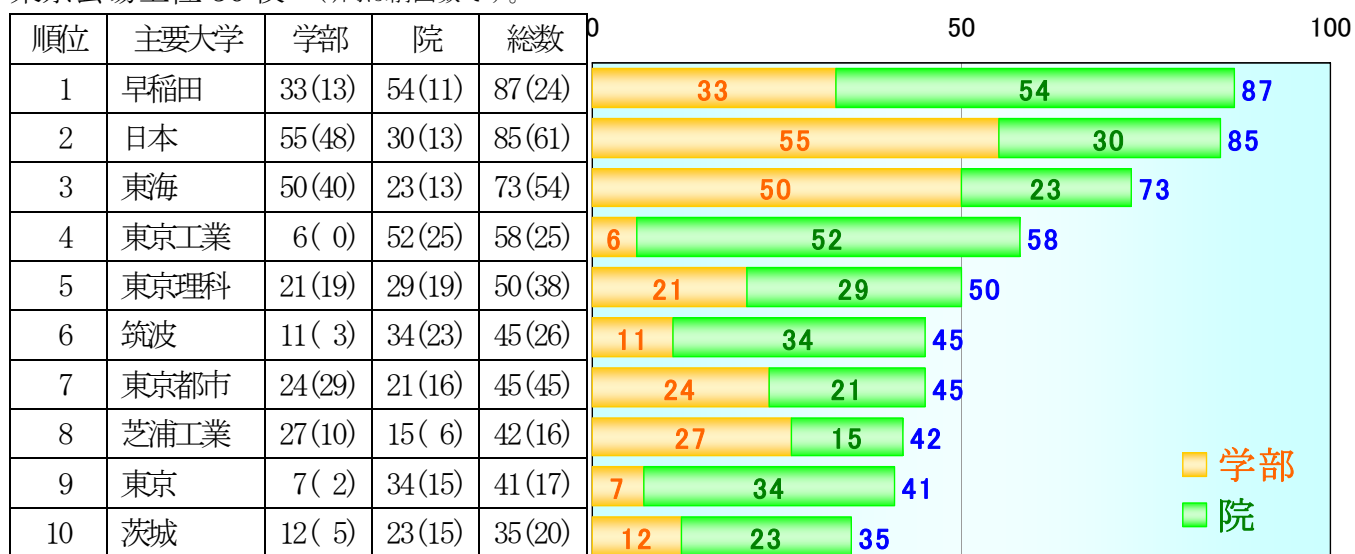
\*その他：短大、専門学校、高専等



東京会場では、昨年度と比較して院生の割合が約13%増加しました(昨年度：院生38.1%、学部生61.7%)。一方で、大阪会場では割合に大きな差異は見られませんでした(昨年度：院生46.8%、学部生52.4%)。

(4) 大学別来場学生数

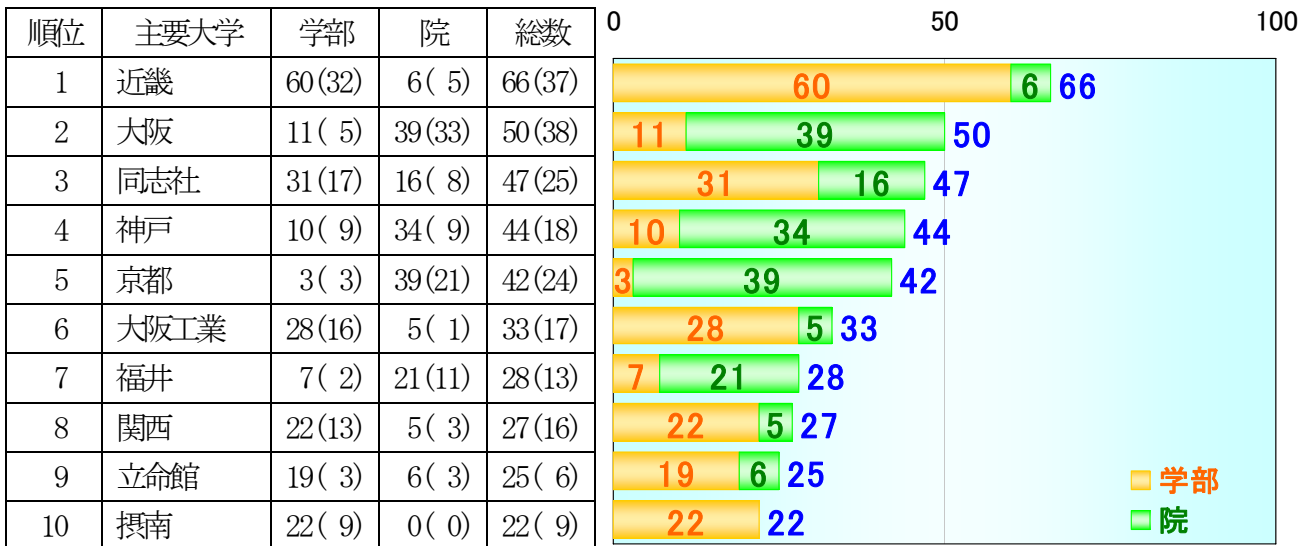
東京会場上位 50 校 ( )内は前回数です。



来場学生数上位 11～50 位：

11 位	明治(34 人)	24 位	成蹊(17 人)	37 位	神奈川工科(8 人)
12 位	東北(33 人)	25 位	新潟(16 人)	37 位	群馬(8 人)
13 位	工学院(32 人)	26 位	上智(15 人)	39 位	関東学院(6 人)
14 位	慶応義塾(31 人)	27 位	東洋(14 人)	39 位	職業能力開発総合(6 人)
14 位	東京電機(31 人)	28 位	名古屋(13 人)	39 位	信州(6 人)
16 位	中央(23 人)	29 位	九州(12 人)	39 位	津田塾(6 人)
17 位	青山学院(21 人)	29 位	千葉(12 人)	39 位	立教(6 人)
17 位	電気通信(21 人)	31 位	千葉工業(12 人)	44 位	岩手(5 人)
19 位	首都大学東京(19 人)	32 位	東邦(11 人)	44 位	学習院(5 人)
19 位	横浜国立(19 人)	33 位	埼玉(10 人)	44 位	北里(5 人)
21 位	神奈川(18 人)	33 位	静岡(10 人)	44 位	国士舘(5 人)
21 位	東京農工(18 人)	33 位	日本工業(10 人)	44 位	産業技術大学院(5 人)
21 位	法政(18 人)	36 位	宇都宮(9 人)	44 位	東京海洋(5 人)
				44 位	福井(5 人)

大阪会場上位 40 校 ( )内は前回数です。



来場学生数上位 11～40 位：

- |                  |                    |                  |
|------------------|--------------------|------------------|
| 11 位 岡山(19 人)    | 21 位 愛媛(7 人)       | 30 位 京都産業(4 人)   |
| 12 位 関西学院(16 人)  | 21 位 大阪府立(7 人)     | 30 位 甲南(4 人)     |
| 13 位 九州(13 人)    | 21 位 岡山理科(7 人)     | 30 位 豊橋技術科学(4 人) |
| 13 位 名古屋(13 人)   | 21 位 静岡(7 人)       | 30 位 和歌山(4 人)    |
| 15 位 大阪市立(12 人)  | 21 位 奈良先端科学技術(7 人) | 35 位 島根(3 人)     |
| 16 位 兵庫県立(11 人)  | 26 位 京都工芸繊維(6 人)   | 35 位 名古屋工業(3 人)  |
| 17 位 大阪産業(10 人)  | 26 位 龍谷(6 人)       | 35 位 奈良高専(3 人)   |
| 18 位 大阪電気通信(8 人) | 28 位 京都府立(5 人)     | 35 位 奈良女子(3 人)   |
| 18 位 広島(8 人)     | 28 位 山口(5 人)       | 35 位 三重(3 人)     |
| 18 位 福井工業(8 人)   | 30 位 金沢(4 人)       | 35 位 名城(3 人)     |

東京・大阪会場とも、学部・院生の区別を問わず全体的に増加傾向でした。また、開催地域外から来場した学生も散見されました。地方別の来場学生数は以下の通りです。

地域別参加学生数

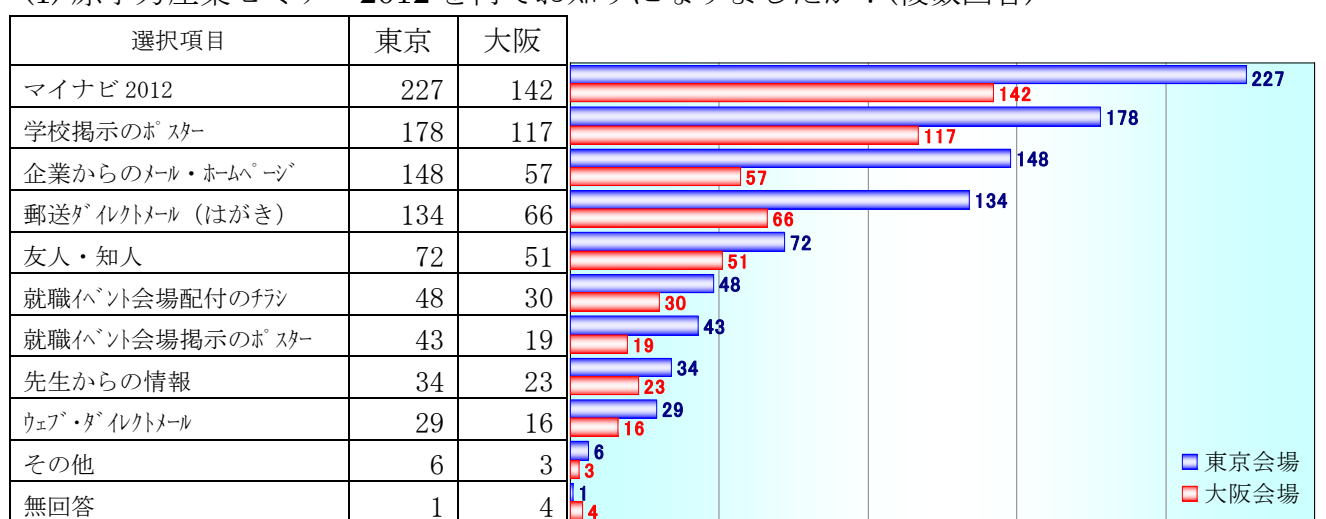
地域	東京	大阪
北海道	4	0
東北	51	0
関東	1102	6
北陸	33	43
中部	39	36
近畿	7	487
中国	3	46
四国	1	13
九州・沖縄	16	16
合計	1256	647

- 北海道 : 北海道
- 東北 : 青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島
- 関東 : 茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川
- 北陸 : 新潟・富山・石川・福井
- 中部 : 山梨・長野・岐阜・静岡・愛知
- 近畿 : 京都・滋賀・奈良・三重・和歌山・大阪・兵庫
- 中国 : 鳥取・島根・岡山・広島・山口
- 四国 : 徳島・香川・愛媛・高知
- 九州・沖縄 : 福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄



## 7. 学生アンケート

### (1) 原子力産業セミナー2012を何でお知りになりましたか？(複数回答)

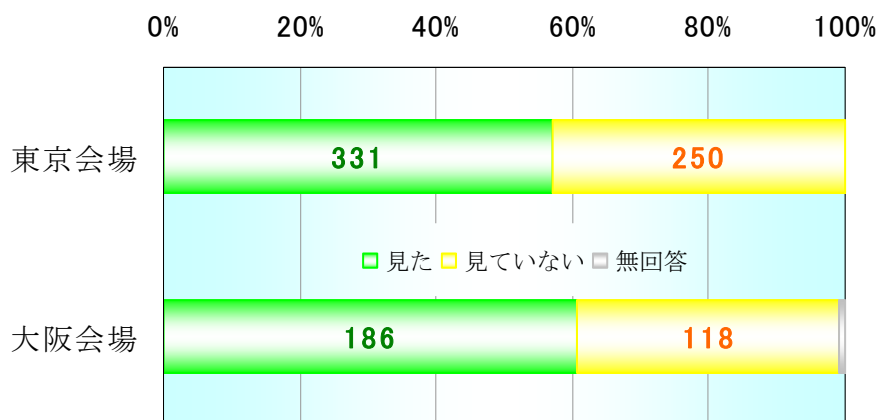


東京・大阪会場とも、最も多数を占めた項目はマイナビ 2012 でした。また、学校掲示のポスターやはがきを挙げた来場学生も多く、電子媒体だけではなく紙媒体からも積極的に情報を収集している学生の現状が伺えます。

### (2) マイナビ 2012「原子力産業特集」はご覧になりましたか？

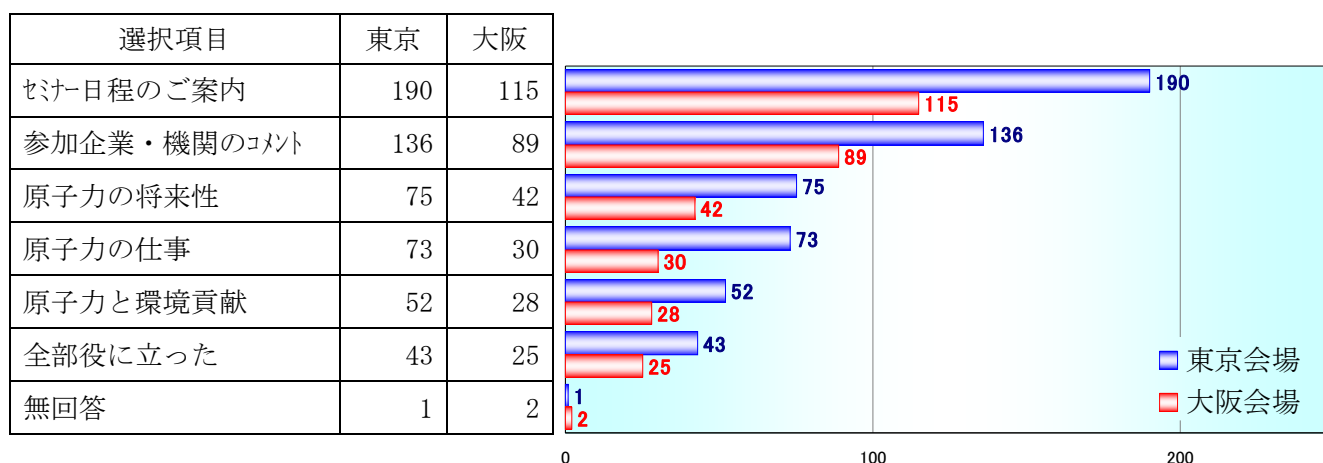
( )内は全体に占める割合です。

選択項目	東京	大阪
見た	331 (57.0%)	186 (60.6%)
見ていない	250 (43.0%)	118 (38.4%)
無回答	0 ( 0%)	3 ( 1.0%)
合計	581 ( 100%)	307 ( 100%)



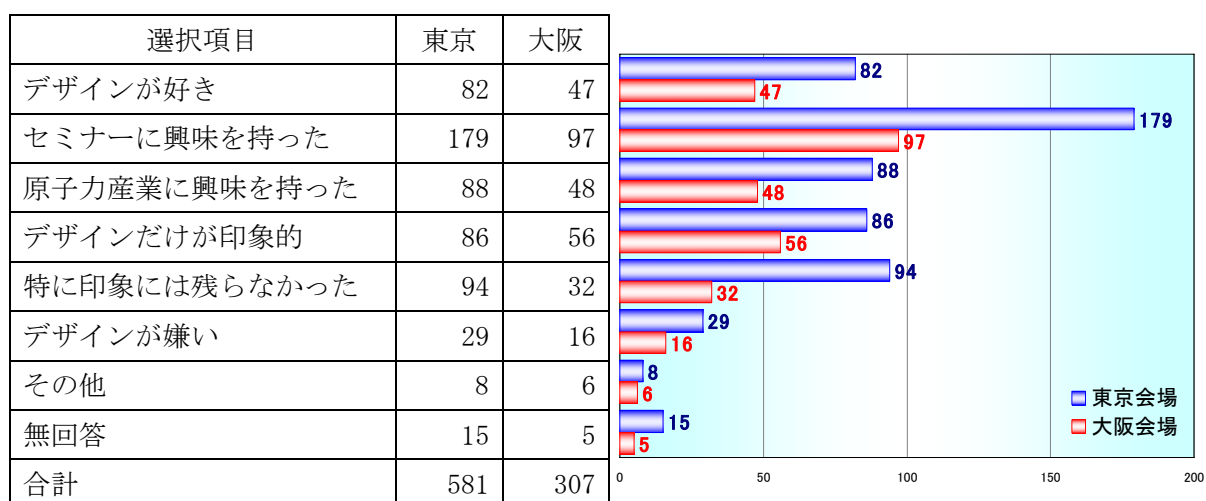
東京・大阪会場とも大きな差異は無く、約 6 割が「見た」と回答しておりました(前回東京 : 59.7%、前回大阪 : 57.7%)。

(3) (2)で「見た」と回答された方にお聞きします。役に立ったページはどれですか？(複数回答)



原子力産業セミナー2012 関連ページのほか、原子力の将来性・原子力の仕事のページも回答数が伸びました。セミナーの情報を取得する目的のほかに、原子力産業の国内外の情報を掴もうとする来場学生の意欲が伺えます。

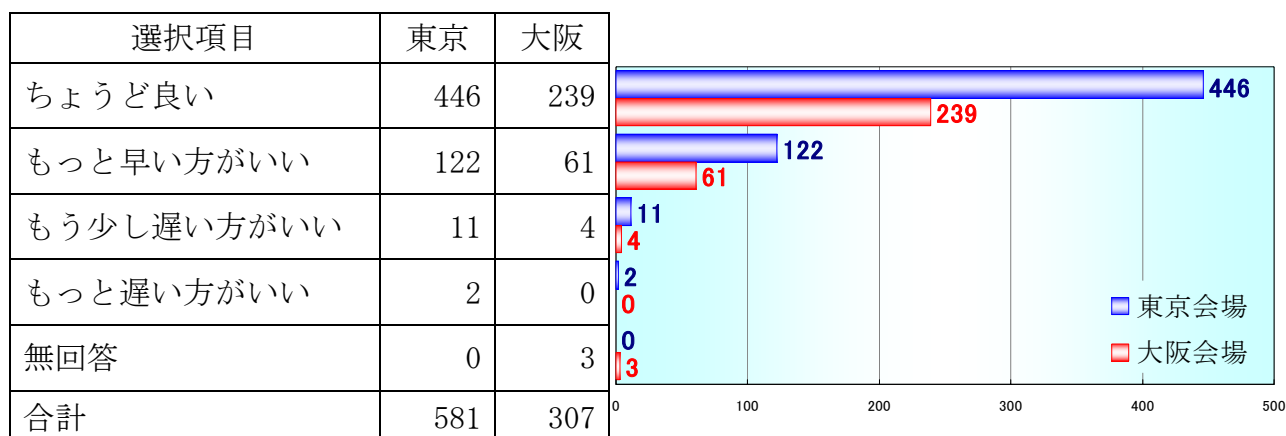
(4) ポスターデザインを見て、どのような印象をお持ちになりましたか？



東京・大阪会場とも「セミナーに興味を持った」の項目が多数を占め、学生への告知・呼び込みとしての役割を達成できたものと思われます。

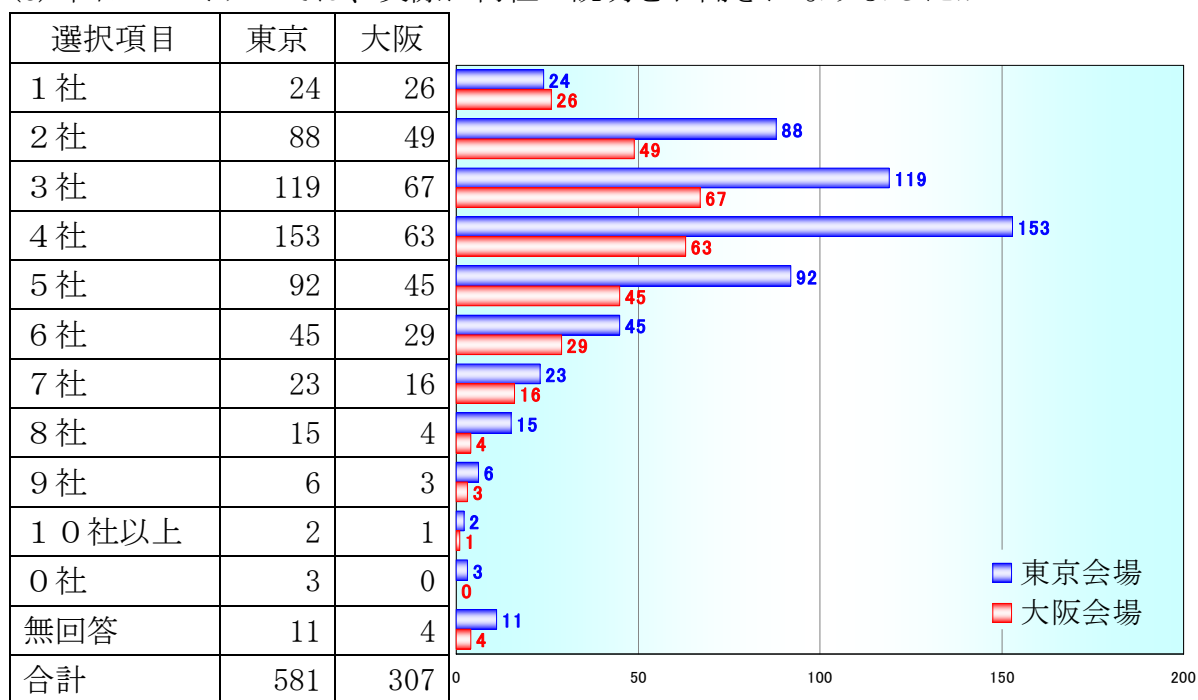
なお、ポスターのデザインに関しましては、「9.ポスター画像」をご覧ください。

(5) 今回のセミナーの開催時期はいかがですか？



今回の原子力産業セミナー2012は平成22年12月11日(土)東京、12月18日(土)大阪で実施しました。「ちょうど良い」が多数を占める結果となり、来場学生にとって適切な開催時期であると認識できました。

(6) 本日のセミナーでは、実際に何社の説明をお聞きになりましたか？

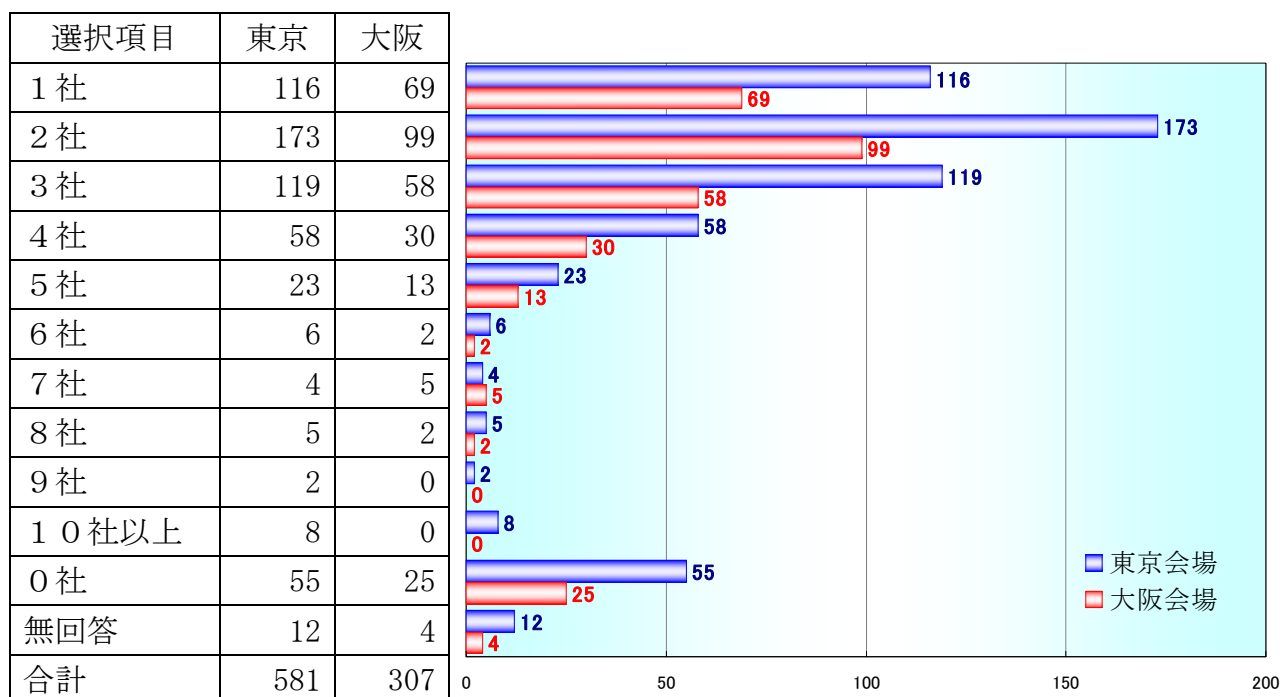


来場学生1人の平均訪問ブース数<sup>\*</sup>は東京会場では3.95社/人(前回4.12社/人)、大阪会場では3.82社/人(前回3.63社/人)でした。

主な就職情報会社が実施する合同企業説明会の平均訪問ブース数は2~3社/人ですが、本セミナーでは参加企業・機関が原子力関連に限定されており、学生も原子力産業全体に興味を持って来場したことが、平均訪問ブース数の押し上げに寄与していると思われます。

※ 平均訪問ブース数の計算は、無回答を除いて行っております。  
 ※ 「10社以上」は10社として計算しております。

(7) セミナーに来場し、新たに興味を持った企業・機関は何社ありましたか？

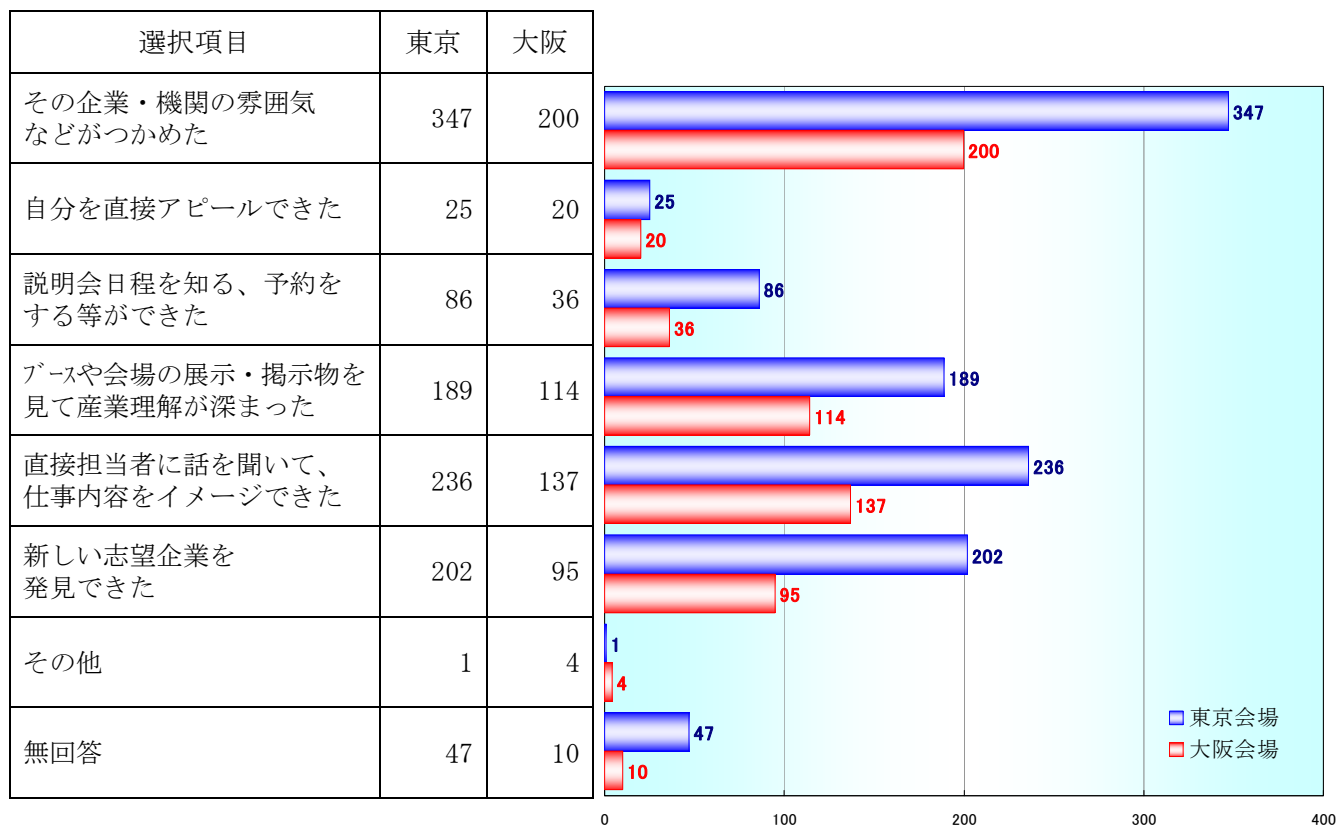


原子力産業におきましては、優良企業が多く存在するにもかかわらず、一般消費者との接触がない等の理由で、学生への認知度が低い場合があります。本セミナーでは、普段は学生から見えにくい「隠れた優良企業」を見つけてもらえたものと考えます。

<新たに興味を持った理由(アンケート自由記入欄からの抜粋)>

- ・ チャレンジ精神がある企業だと思いました。
- ・ 自分の専攻を活かせる職種が見つかりました。
- ・ 業務内容が明確で理解しやすかったです。また、担当の方が親身になって就職支援をしているのが伝わりました。
- ・ 今まで名前も知りませんでしたが、事業内容を聞いて興味を持ちました。
- ・ 地域を理由に詳しく調べていませんでしたが、実際に説明を受けて印象が変わりました。
- ・ 原子力業界をあまり知らなかったなので、その点を知ることができました。
- ・ そもそも企業を知らなかったなので、良い発見になりました。
- ・ ホームページでは分からない話を聞けました。
- ・ 原子力にもこういう分野があるのだと考えさせられました。
- ・ 開発ではなく、保全業務に興味がわきました。
- ・ 原子力についてのことなども詳しく説明していただき、とても理解しやすかったです。また社員の方の生の声を聞くことができ、会社の雰囲気も伝わりました。
- ・ 技術系の方のプレゼンから熱意が伝わり、とてもやりがいを感じているのだと思いました。
- ・ 海外に行ってみたい、日本から出たいと思いました。

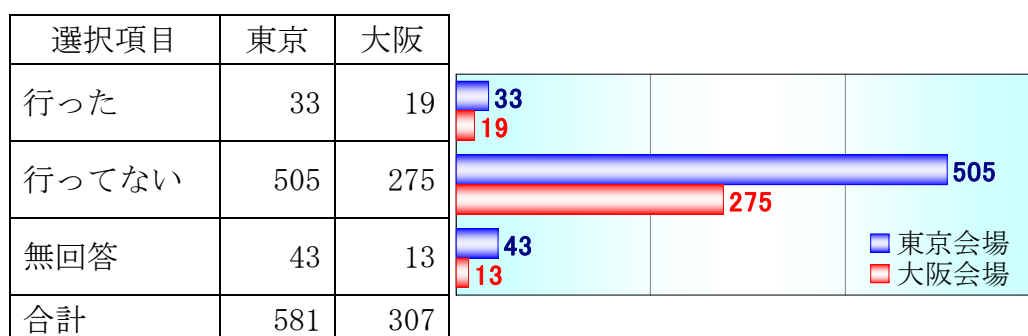
(8) 本日のセミナーで役に立ったのは、どのような点ですか？(複数回答)



ホームページで得られる情報のほかに、企業・機関の担当者から直接説明を受け、実際に話したり質問したりすることでオンラインでは得られない”活きた”情報を得ようとしているようです。

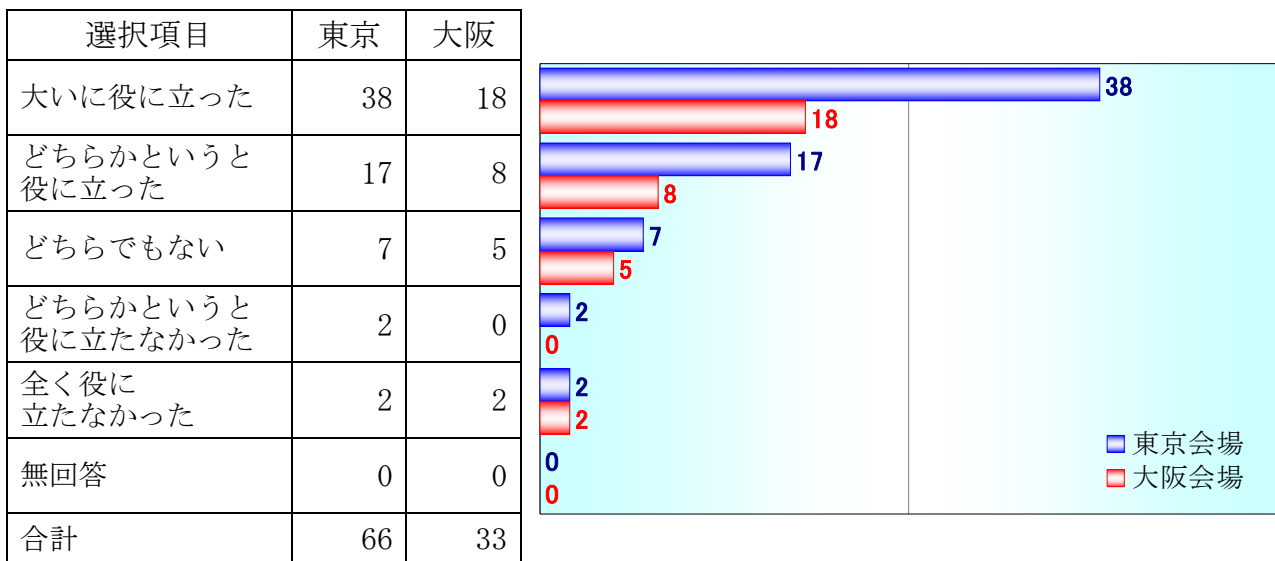
また、「ブースや会場の展示・掲示物を見て産業理解が深まった」と回答した来場学生も多く、原子力産業の理解促進の目的も果たせたものと認識しております。

(9) 「原子力なんでも相談コーナー」に行きましたか？



「原子力なんでも相談コーナー」とは、主に普段から原子力産業と接することのない原子力系以外の理系学生や文系学生を対象とした、相談ブースです。原子力産業全体の説明、学生の専攻を生かせる職種の助言、原子力や放射線の原理・応用の説明等、日本原子力産業協会および関西原子力懇談会の経験豊富な担当者が相談員として 2～3 人で対応しました。

(10) (9)で「行った」と答えた方にお聞きします。「原子力なんでも相談コーナー」は役に立ちましたか？

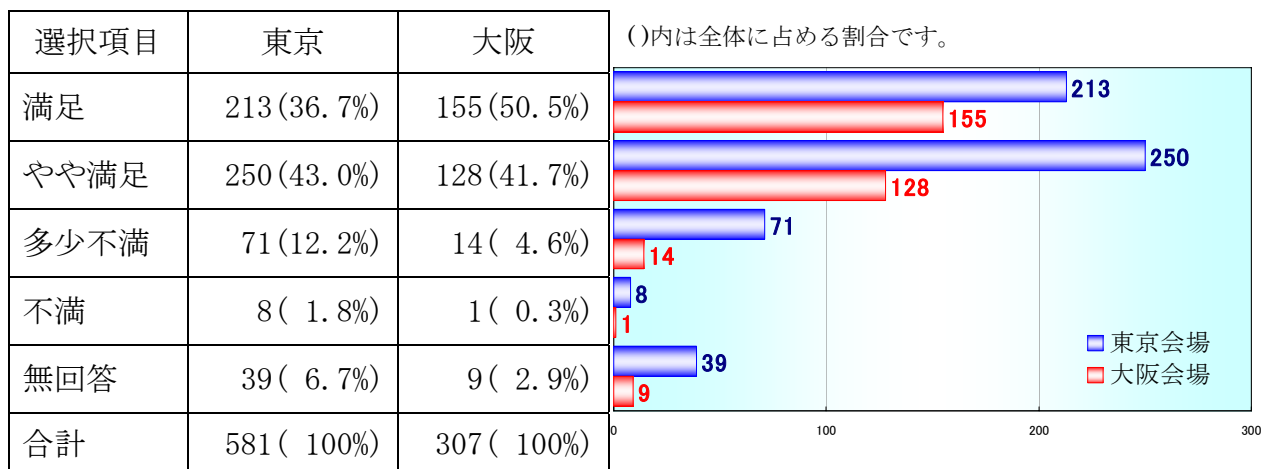


東京・大阪会場とも、「大いに役に立った」もしくは「どちらかという役に立った」と回答した学生は約 8 割にのぼり、本コーナーで原子力産業の理解促進の一助を担うことができました。また、学生の専攻に合わせて原子力産業の職種(設計・保守・運営・管理等)や具体的な業務情報を提供し、それまで抽象的だった仕事のイメージを具体化させ、来場学生が原子力産業において就職活動を進める上で、手助けをすることができました。

<アンケート自由記入欄からの抜粋>

- ・ 原子力の事だけでなく就職活動全般について相談して頂けた為、大変参考になりました。
- ・ 在籍する学科を話したことで、どんな形で業界に関わっていけるのか等の事を聞けたので、とても参考になり良かったです。
- ・ 文系で原子力発電に関する知識があまり無かったのですが、分かりやすく説明して頂き、更に原子力に興味を持ちました。

(11) 本日のセミナーに参加された感想はいかがでしたか？

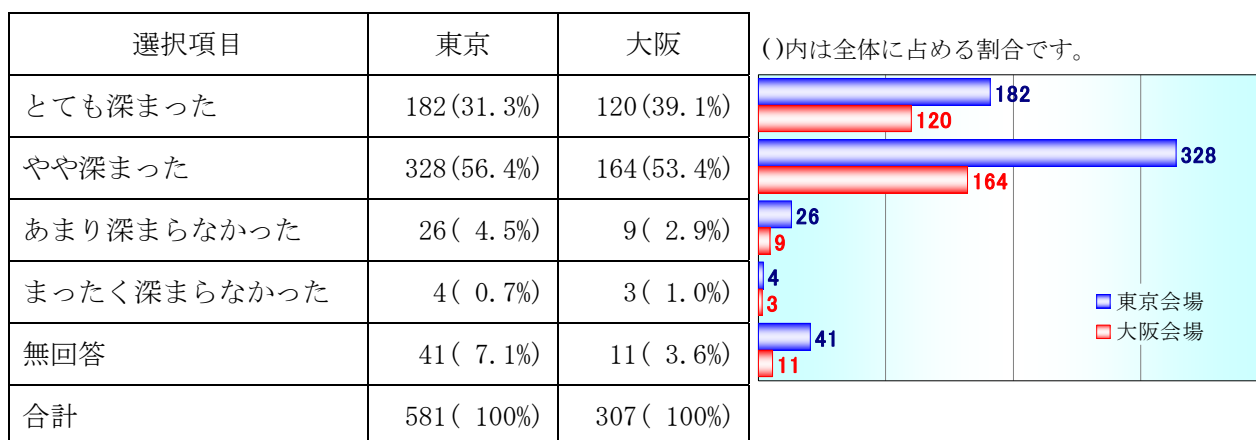


東京・大阪会場で約 8～9 割の学生から「満足」、「やや満足」の回答を得ることができ、原子力産業セミナー2012 は成功裏に終了することができました。

<アンケート自由記入欄からの抜粋>

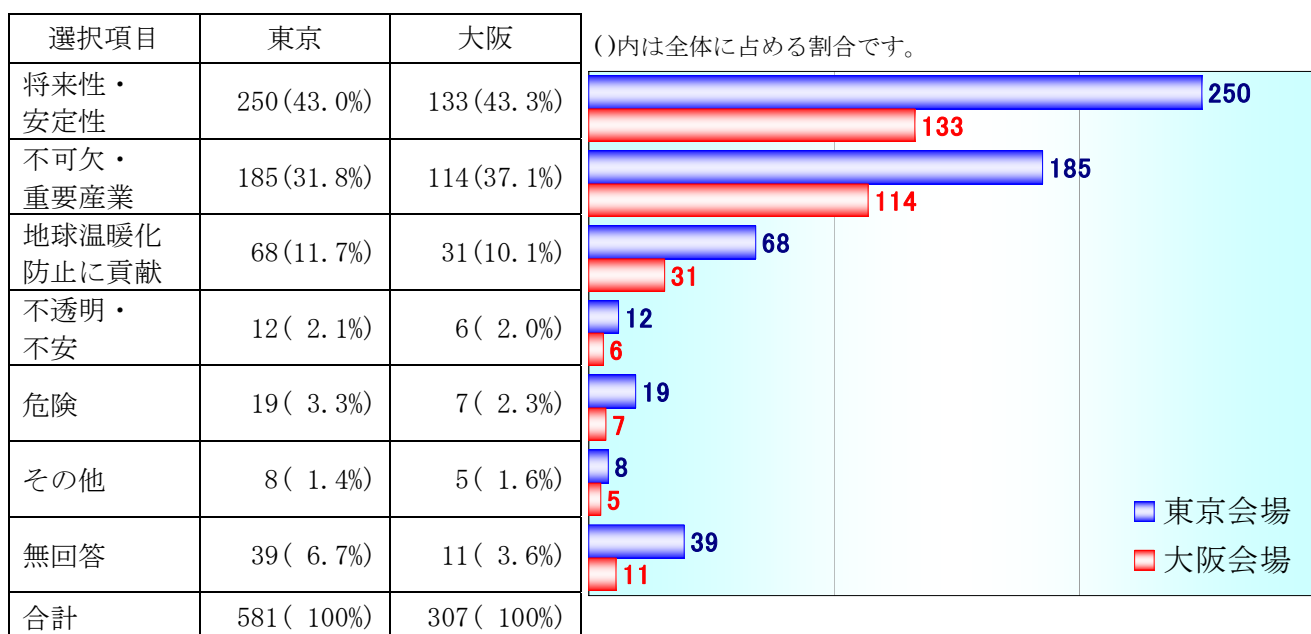
- ・ 新しく企業を知ることができました。
- ・ 普段知らないような事業について知ることができました。
- ・ 新しく、気になる企業を発見できました。
- ・ 良くある全分野の説明ではなく、役に立つ情報が多かったです。
- ・ 原子力を学ぶ者として、とても良い刺激となりました。
- ・ 企業だけでなく、業界の理解が深まりました。
- ・ この業界の大手だけでなく中小も集まり、説明を受ける良い機会になりました。
- ・ 各企業の原子力部門について良く分かりました。

(12) セミナーに参加されたことで、原子力産業への理解は深まりましたか？



来場学生に対する原子力産業理解の促進は、本セミナーの目的のうちのひとつです。約9割の学生が「とても深まった」もしくは「やや深まった」と回答しており、原子力産業セミナー2012の開催目的のひとつを達成できたものと思われまます。

(13) 原子力産業に関して、どのようなイメージをお持ちですか？



来場学生の多くは、原子力産業を将来有望な分野として肯定的に捉えている傾向が有ります。

<アンケート自由記入欄からの抜粋>

- ・ 電力の安定供給には欠かせません。
- ・ 小さいころからあるイメージです。
- ・ 課題は多いですが、将来のエネルギーを考えると不可欠です。
- ・ 日本のような資源がない国には必要です。
- ・ 国と政策との関連から、環境というイメージがあります。

## 8. 総括

### (1) 来場学生数の増加について

平成 18 年度から毎年 1 回開催してまいりました原子力産業セミナーも、今回で 5 回目を迎えました。来場学生数は、回を重ねるごとに順調に増加傾向で推移しておりましたが、今回は例年と比較し、大幅に増加いたしました。これは、学生への告知を強化した結果と考えております。具体的な告知の強化内容は、以下の通りです。

- ・ 大学や高専、短期大学等の就職関連窓口への告知ポスター配布量を、約 600 箇所を増加しました(前回は約 200 箇所)。
- ・ マイナビ 2012(理系ナビ)上の原子力産業特集にリンクしたバナーの設置期間を、8 週間に延長しました(前回はマイナビ 2011 トップページに 2 週間設置)
- ・ 学生へのはがきの送付量を約 37,000 件に増加しました(前回は約 32,000 件)。

また、昨今の就職事情によるところもありますが、本セミナーが学生間に根付き、先輩から後輩へ、先生から生徒へと口頭でのコミュニケーションによる伝達も要因のひとつとして挙げられます。

### (2) 原子力なんでも相談コーナーについて

来場学生の中には、「自分の選考は原子力産業のどのような分野で活かせるのか分からない、原子力産業にはどのような仕事があるのか知らない」という学生も少なくありません。そこで、原子力産業の仕事や、どのようなことができるのか、専攻に合った分野の紹介を実施しました。

さらに、原子力関連の専攻ではない学生に対し、就職相談と併せて原子力発電の仕組みや放射線とは何か等を説明することにより、原子力産業への原子力産業の理解活動に資することができました。

### (3) 東京会場の混雑解消方法の検討

当協会は前回と同程度の 800 人の来場学生数を見込み、会場レイアウトの配置を工夫するなどして近年の来場学生数増加に対応して参りました。しかし、今回は予想を大幅に超える約 1100 人の学生が来場したため、会場全体が大変混雑し、通路の確保が難しい状況となりました。これを受け、混雑の解消方法を検討することと致しました。



9. ポスター画像

合同企業説明会

# 原子力産業セミナー2012

入場無料・事前予約不要・入退場自由・全学部・全学科対象

原子力  
 就活は！

**東京会場 2010年12月11日(土) 10:00~17:00**

新宿エルタワー30階サンスカイルーム (新宿駅西口より徒歩3分)  
 東京都新宿区西新宿1-6-1 [http://www.sunskyroom.jp/1\\_tower/traffic.htm](http://www.sunskyroom.jp/1_tower/traffic.htm)

**東京会場ブース出展企業・機関**

- (株)HII ●(株)アトックス ●伊藤忠テクノソリューションズ(株)
- MHI原子力エンジニアリング(株) ●(株)オーシー・エル ●関西電力(株)
- (株)クローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン ●原子燃料工業(株)
- (独)原子力安全基盤機構 ●原子力発電環境整備機構 ●東電事業(株)
- 京都放送(株) ●高屋狂児(株) ●新日本空調(株) ●太平洋電業(株)
- 中部電力(株) ●(株)千代田テクノロ ●(株)テプコスシステムズ
- (財)電力中央研究所 ●(株)東京エネクス ●東京電力(株) ●(株)東芝
- 東芝プラントシステム(株) ●東電設備エンジニアリング(株)
- 東電工業(株) ●東電設計(株) ●東洋エンジニアリング(株)
- 日本エヌ・ユー・エス(株) ●(独)日本原子力研究開発機構
- 日本原子力発電(株) ●日本原燃(株) ●(財)発電設備技術検査協会
- (株)日立製作所 ●(株)日立プラントテクノロジー ●北陸電力(株)
- 三菱原子燃料(株) ●三菱重工業(株) ●三菱マテリアル(株)

**大阪会場 2010年12月18日(土) 10:00~17:00**

ハービスOSAKA 地下2階ハービスホール (大阪駅より徒歩7分)  
 大阪市北区梅田2-5-25 <http://www.herbis-hall.com/access/>

**大阪会場ブース出展企業・機関**

- (株)HII ●(株)アトックス ●ウツエ/ILPサービス(株)
- MHI原子力エンジニアリング(株) ●(株)オーシー・エル
- 関西電力(株) ●関電プラント(株) ●原子燃料工業(株)
- (独)原子力安全基盤機構 ●原子力発電環境整備機構
- 原電事業(株) ●四国電力(株) ●原研技研(株)
- 新日本空調(株) ●太平洋電業(株) ●中国電力(株)
- 中部電力(株) ●(株)東芝 ●東芝プラントシステム(株)
- (独)日本原子力研究開発機構 ●日本原子力発電(株)
- 日本原燃(株) ●(財)発電設備技術検査協会
- (株)日立製作所 ●三菱原子燃料(株) ●三菱重工業(株)
- (財)若狭湾エネルギー研究センター

主催 併設 **TAIF (社)日本原子力産業協会・関西原子力懇談会** Tel: 03-6812-7102  
 協 力 **マイナビ2012** Email: nis2012@jaif.or.jp  
 【後援】原子力委員会、文部科学省、経済産業省 【協賛】(社)応用物理学会、(独)国立高等専門学校機構、(社)電気学会、(社)電子情報通信学会、(社)土木学会、(社)日本化学会、(社)日本機械学会、(社)日本原子力学会、(社)日本建築学会、(社)日本物理学会、日本保健物理学会

10. 写真

東京会場



大阪会場





# 来れ 原子力産業

## 大阪で合同企業説明会

日本原子力産業協会（東京都港区）と関西原子力懇談会（大阪市西区）は18日、大阪市北区のハービスホールで原子力産業に携わる企業・機関を集めた「合同企業説明会」を開催した。「就職氷河期」を反映して多くの学生が来場、会場のいたるところで企業担当者の説明を熱心に聞き入る姿がみられた。写真（香西広豊撮影）。

同説明会は、原子力産業への理解向上と学生の就職活動支援を目的に、大阪では昨年から開催。今回は関西電力など7電力会社のほか、東芝や日立製作所といった27社・機関が参加。会場内には企業ブースと合わせて、プラント模型や原子力に関する各種パネルが展示されていた。

関西学院大学3回生の女子学生は「エネルギー産業に興味があって説明会に来ました。10月下旬から就職活動を始めますが、これからが本番です」と気を引き締めていた。

同説明会は今年11日に東京で開催され、昨年来場した約500人上回る約1250人の学生が来場した。



原産  
協会

# 就職セミナー—学生急増

世相反映? 人の渦—  
日本原子力産業協会が主催する「原子力産業を裏打ちするように、学生から、」

「東京・新宿で開かれ、12年春の大学卒業予定者が原子力関連企業のブースに詰めかけた。訪れた学生は前年より多く、主催者側は「就職難の世相と、原子力の海外展開がマスコミをにきわしていることが活況の要因ではないか」と分析。これ

が主催する「原子力産業を裏打ちするように、学生から、」セミナー「2012」が11日、東京・新宿で開かれ、12年春の大学卒業予定者が原子力関連企業のブースに詰めかけた。訪れた学生は前年より多く、主催者側は「就職難の世相と、原子力の海外展開がマスコミをにきわしていることが活況の要因ではないか」と分析。これ  
11日の東京会場では午後1時の時点で前年の入場者数を上回る盛況ぶり。出展した各企業のブ

## 安定性や海外事業に人気

「大卒では離職率が0%だ」という説明が印象深かった」と話していた。

「大卒では離職率が0%だ」という説明が印象深かった」と話していた。

「大卒では離職率が0%だ」という説明が印象深かった」と話していた。

## 原子力産業のセミナー盛況

2010年12月27日

日本原子力産業協会は、学生の採用就職活動を目的にしたセミナーを東京都内で開いた。今年で五回目。就職難を背景に過去最高の千二百五十六人が参加し、熱気に包まれた。

原子力関係産業にしぼったセミナーには、東京、関西、中部、北陸など電力会社、東芝、日立、三菱重工の主要プラントメーカーなど企業、研究機関三十八社が参加した。



会場にはスーツ姿の学生が切れ目なしに訪れ、満員状態。昨年の七百五十五人を大幅に上回る就活学生が、各ブースで事業内容や待遇などについて説明を受けたり質問したりしていた。

電力会社やメーカーの人气が高く、説明会には順番待ちの行列ができるほど。ノートを持参し、熱心にメモをとる姿が目立った。原産協会は「今年は例年以上に真剣さを感じる。就職難もあるが、原子力を色眼鏡で見ず、大切なエネルギーの一つととらえているようだ」と、予想以上の盛況に驚いていた。

参加した機械専攻の三年生は「四年生の四割が未内定。厳しさを実感する。就職ガイダンスで原子力は将来性があるといわれた。三、四社の説明会に出る」と話していた。

Copyright © The Chunichi Shimbun, All Rights Reserved.



## 来場者数さらに増加

### 原産セミナー 学生も業界へ期待

原産協会は十一日、大子力産業セミナー二〇一〇学生・大学院生を対象とし、東京・新宿エルタした合同企業説明会「原ワー三十階」で開催した。

(II写真)

電力会社や東芝、日立、三菱重工など国内主要プラントメーカー、研究開発や安全規制に関わる機関など、原子力に携わる三十八の企業・団

体がブースを設けたほか、十四の企業・団体の採用案内資料を用意し、就職相談を行った。また、原産協会による「原子力なんでも相談コーナー」を設け、一人一人の専攻を活かした進路や原子力産業への質問などに応じた。

この日の来場学生数は、千二百五十六名で、昨年度より五百一名増加。開場前から多くの学生が列を作り、関心の高さが伺えた。会場の学生からは、「原産OSAKA内ハビ子力でもシステム系の専門を活かした仕事ができ

るかどうか探しにきたが、マッチする企業が見つかった」、「文系だが開発の仕事に係わりたいと考えており、プラント建設を手がけている企業の話を聞きに来た」、「今後電気がなくなることは考えられませんが、原子力はずっと必要であり将来も安定した仕事だと思

う」、「原子炉安全が専門なので研究を活かせる仕事をしたい」などの声が聞かれた。

十八日には大阪・ハビ子力でもシステム系の専門を活かした仕事ができ開催される。